取扱説明書 ―――― 保管用

yamada

バリードライト(地中埋込灯)

(防雨型/密閉型/荷重型/LEDタイプ)

ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品　名	光源ユニット	適合電圧
AD-2495-N	LED 22.2W×1(ナロー・白色)	AC100V～240V(±6%)
AD-2495-L	LED 22.2W×1(ナロー・電球色)	
AD-2509-N	LED 22.2W×1(ミディアム 26°・白色)	
AD-2509-L	LED 22.2W×1(ミディアム 26°・電球色)	
AD-2496-N	LED 22.2W×1(ミディアム 34°・白色)	
AD-2496-L	LED 22.2W×1(ミディアム 34°・電球色)	

※1回路の最大接続台数は30台（200V時…60台）までです。30台(200V時…60台）を超える場合は別途ご相談下さい。

●荷重型について：人が乗っても耐える構造になっています。

この取扱説明書のマークについて。

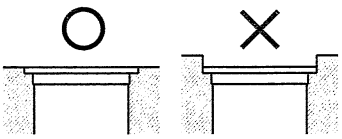
⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け　取り扱い上の注意

⚠警告

❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。

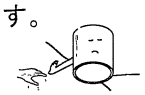
🚫 次のような場所には取付けないでください。
○水中や水没する恐れのある場所には使用できません。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
○強酸、強アルカリの地質および雰囲気では使用しないでください。
○塩害地および、温泉地での使用は腐食する恐れがあるため、お避けください。
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
○車が通る場所には使用できません。
○浴室、サウナなどの湿度の高くなる使用場所への使用。
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。



❗ ○電源線は2種EP絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル(2PNCT) 3芯Φ10.5～Φ13.0専用です。
○他のケーブルは使用できません。(VCT等不可) ○締付ナットを外しコーキング等の処理はできません。
★指定外ケーブルの使用・施工は器具の防水性を損ない(器具内への浸水)、感電や漏電事故の原因となります。
○接地(アース)工事は必ず行ってください。
○配管と器具と接続は呼び22(厚鋼電線管ネジ)のアダプターを使用します。

🚫 ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

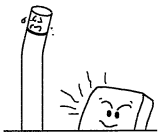
🚫 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。



🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ ＡＣ100Ｖ～240Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖ～240Ｖ(定格電圧±6%)の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100V～240V)以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。



❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、光源ユニット寿命短縮の原因となります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

🚫 ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

● 使用上の注意

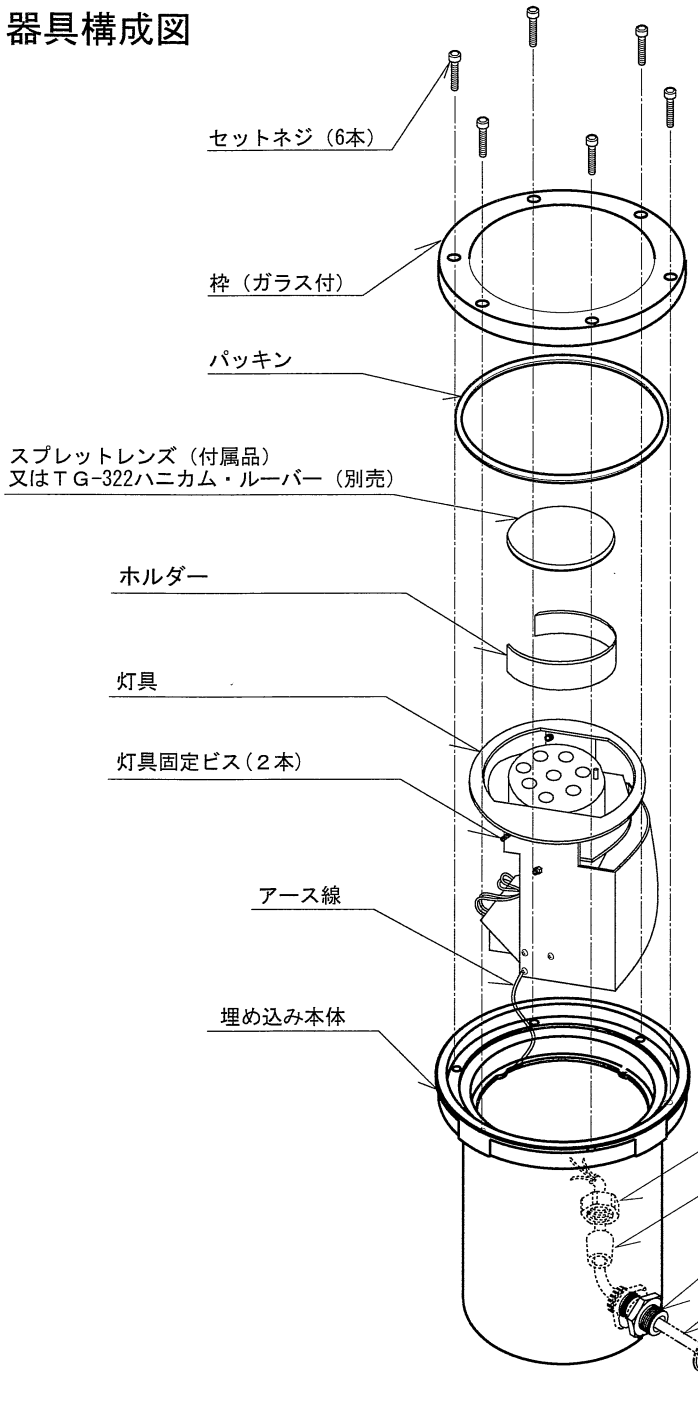
⚠ 注意

- 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）
- LED光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合がございます。予め御了承ください。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予め御了承ください。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予め御了承ください。

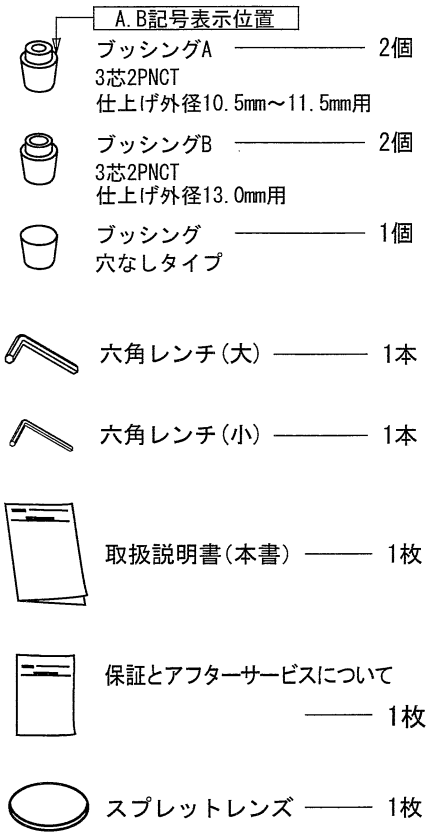
● 各部の名称

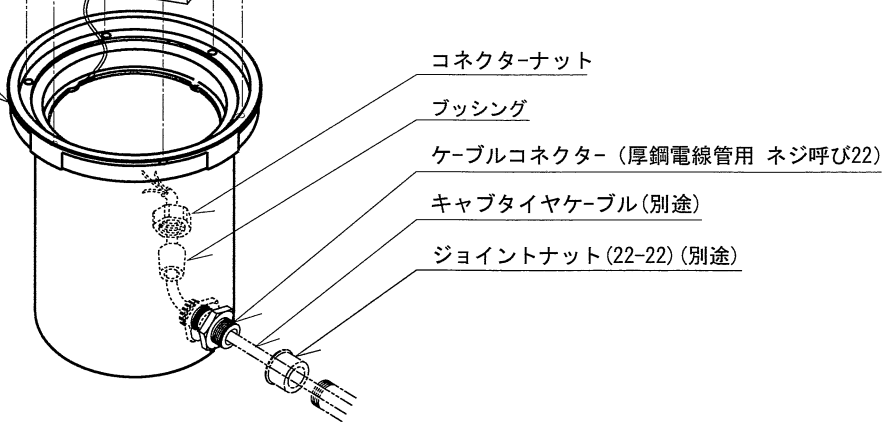
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■ 器具構成図



■ 付属品





● 取り付け方

⚠ 注意 ● 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ● 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、感電や漏電事故の原因となることがあります。
● D種（第3種）接地工事は、電気設備技術基準に従って確実に行ってください。
★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

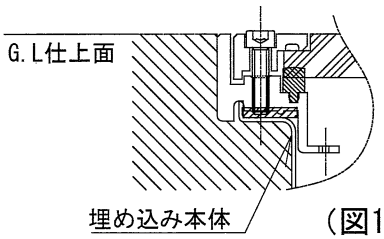
1、電源線の結線と埋め込み本体の取付け方法

1. 枠(ガラス付)、パッキン、灯具、ホルダーを埋め込み本体からはずします。
（付属の六角レンチ(大),(小)使用）
2. セットされているコネクターナット、ブッシングをはずします。
3. 埋め込み本体を設置場所に入れます。
4. 電源線からのケーブルに予め速結コネクター(別途)、ジョイントナット(呼び22別途)を通します。
5. ケーブルをケーブルコネクターに通し、器具内に引き入れます。
❗電源線は3芯キャブタイヤケーブルΦ10.5～13.0(2PNCT)を必ず使用してください。
他の電源線は使用できません。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
6. ケーブル外径にあったブッシングにケーブルを通します。

ブッシングA：3芯2PNCT(1.25～2mm²)	仕上げ外径10.5mm～11.5mm用
ブッシングB：3芯2PNCT(3.5mm²)	仕上げ外径13.0mm用

＊ブッシングA 2個は、ケーブルコネクターにセット済みです。

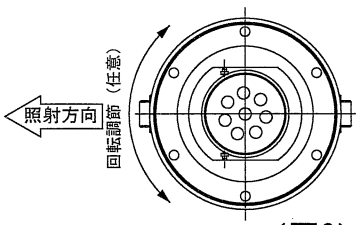
7. コネクターナットにケーブルを通します。
8. ケーブルコネクターにブッシングを押し入れコネクターナットを締め込みます。
★確実に施工してください。浸水の原因となります。
9. ジョイントナット、他(別途)をセットし電線管を接続します。
❗送り配線しない場合は、片側のケーブルコネクターに穴無しブッシングを、必ずセットしてください。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
10. 器具開口部に養生を施し、埋め込み本体をG.L仕上げ面に合わせ設置場所に固定します。(図1)
11. 灯具口出線と電源線、電源送り線を結線します。
12. アース線をアース端子に接続します。



（図1）

2、灯具のセット

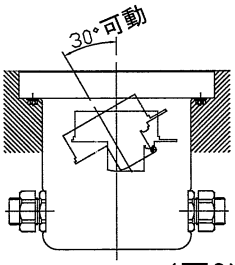
1. 灯具を埋め込み本体にセットします。
2. 灯具を照射する方向へ回転させ位置を調整します。(図2)
3. 灯具の向きが決まりましたら、灯具固定ネジ（２本）を六角レンチ(小)で締め込み、灯具を固定してください。
4. 【オプションについて】を参照して、スプレットレンズ（付属品）、またはＴＧ－３２２（別売品）のセットをしてください。
5. 灯具可動部を照射する方向へ鉛直方向に可動し調整します。(図3)



水平方向の調整(図2)

3、枠のセット

枠(ガラス付)、パッキンを埋め込み本体にセットし、セットネジ(6本)を六角レンチ(大)で対角線ずつ順次均等に締め込み、枠を固定します。
(全てのセットネジにゆるみがないように再確認してください。)
＊埋め込み本体内が濡れているような場合には、完全に乾燥させてください。
＊埋め込み本体と枠が接する部分(パッキン・ガラス面）、ネジ穴部のゴミ、砂利などの異物を完全に除去します。
❗★埋め込み本体と枠の間に異物がはさまると密着が悪くなり防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。



鉛直方向の調整（図3）

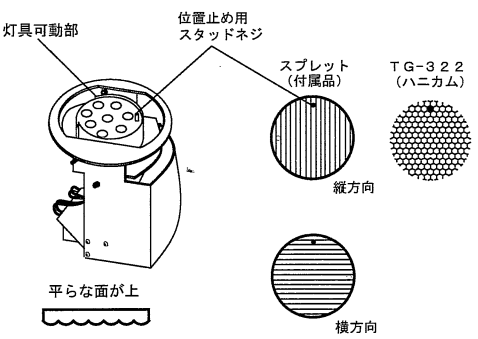
●オプションについて

スプレットレンズ（付属品）・ハニカムルーバー（TG-322別売品）が取付け可能です。灯具可動部にホルダーをセット後、落とし込んで下さい。

（注）併用はできません。

スプレットレンズ：２つの孔のいずれかを位置決め用スタッドネジに合わせ、平らな面を上にして入れてください。

ハニカムルーバー：ハニカムパターンを位置決め用スタッドネジに合わせ、入れてください。



お手入れについて ⚠注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●1年に1回はお手入れを行い、異常が無いか点検をしてください。

また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。

★点検を行なわずに長時間使用し続けますとまれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

●こまめに清掃を :照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。

定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

ガラスの表面は製品の配光効果の維持と危険防止のために常に清掃をお願いします。

●メンテナンス時には以下の点に注意してください。

◆雨天時及び器具表面が濡れている時のメンテナンスは、避けてください。

枠を外す時、雨水等が器具本体に浸水する恐れがあります。

★浸水による火災・感電の原因となります。

◆異物混入を防ぐため、枠・パッキン・ガラス・本体部(特にネジ穴部およびパッキン受溝）のゴミ、砂等を完全に除去してください。

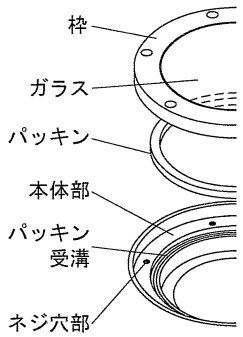
★浸水による火災・感電の原因となります。

◆パッキンが損傷した場合は交換してください。

(使用期間３年を目安に交換することをお勧めします。)

◆枠取付け時、ネジは対角線上に順次均等な締めつけをしてください。

(全てのセットネジにゆるみがないように再確認してください。)



●定期点検について:防水性を保つ為定期的(３ヶ月～半年に１度程度)にセットネジのゆるみがないか確認してください。

(セットネジのゆるみがありましたら、付属の六角レンチでネジを均等に増し締めしてください。)

⚠ 注意

●お手入れをするときには、必ず、スイッチを切ってから取りかかってください。

★感電事故の原因となります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■光源ユニットの交換

⚠注意 本製品は、構造上お客様にて光源ユニットを交換することができません。

メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

■ お手入れのしかたについて

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■ アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。